

## 1-9 野生種と栽培種はそれぞれ何種類あってどう分類されている

野生種は ①20種類 ②50種類 ③80種類

栽培種が ④1種類 ⑤2種類 ⑥6種類 ⑦15,000種類

分類の問題はいろいろな答え方があります。人間の例で言えば、世界の人口は 2019年現在で77億人と推計されてますが、各人が個性を持って区別できるということでは、人の数だけ種類があるといえます。これが植物でいえば栽培品種というものになります。それではあまりに大ざっぱで分類したことになるということで、白人、黄色人、黒人等に分けるとします。これは、ラッカセイで言えば、亜種もしくは変種に相当するでしょうか。しかし動物学の分類では、現世人類はヒトの1種(ホモ・サピエンス・サピエンス)だけで、亜種や変種といった分類は無いようです。

落花生及び野生種はいずれも植物分類学上ではマメ科ラッカセイ属に入ります。そして、現在見つかった野生種は82種類で、各々が植物分類での種ということになります。栽培種は植物分類学上では1種ですが、多くのタイプがあると認識されるため、さらに細かく分けられており、2つの亜種の下に、合計6つの変種があるとされています。そしてそれら変種に栽培品種が合計15,000品種ほど認められています。

クイズの答えですが、野生種は80種類が正解、栽培種は質問の答えの全てが正解ということになります。

納得できましたか。栽培種は、種レベルでいうと④、亜種レベルでは⑤、変種レベルでは⑥、そして栽培品種レベルでは⑦の各種類に分類されるというわけです。分類学では、どのレベルで種類をとらえているか、それが重要ということになりますね。覚えておかれると良いかと思います。野生種でも細かな分類方法が確立されれば、種類が増えてくるかと思いますが、それについての報告はまだ無いようです。それにしても、植物の数は同じなのに分類すると種類が増えたり減ったりするって妙な話ですね。でも後で述べますが、分類するって、おもしろくてためになることなんですよ。

正解 野生種:③ 栽培種:④~⑦